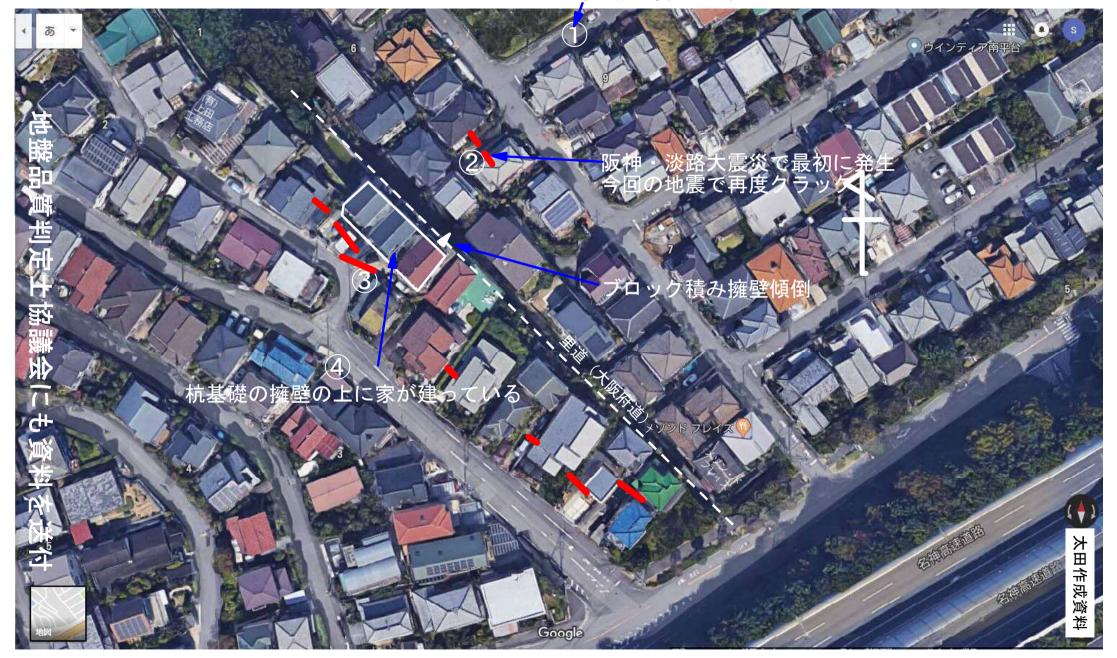
# 微動計探査位置



このお宅の基礎となっている擁壁は杭基礎のため、家の変状は比較的軽微。庭に開ロクラック発生。斜面下側が1.5cm ほど沈下。

状 況

(写真) (図表)

日 時 6月 24 日 12 時 ごろ 分

場 所 大阪府高槻市南平台2丁目1番、1丁目6番

避難勧告が出ていた高槻市南平台 2 丁目 1 番の一部と 1 丁目 6 番の一部は、50 年位前(1960 年代)に造成された大規模造成地。開口クラックが連続的に形成されたのは、地山が急傾斜となっているところの盛土と地山の境界付近。

この上側擁壁は杭基礎

記事

報告者 太田英将 (所属: 有限会社太田ジオリサーチ)



北西から南東方向に向かって地盤のクラック・段差を順番に並べた。切盛り境界付近に連続してクラック が発生している。

日 時 6月24日 12時ごろ 分

場 所 大阪府高槻市南平台2丁目1番、1丁目6番



切盛り境に段差・クラックが連続的に発生している。里道より西側は、急崖部を造成した宅地。

記事

報告者 太田英将 (所属: 有限会社太田ジオリサーチ)

状 況

(写真) (図表)



このクラックは、1995年の阪神・淡路大震災時に発生した。今回の地震で補修跡が開いており、再び変状が発生したものと考えられる。

日 時 6月24日 11時ごろ 分

場 所 │ 大阪府高槻市南平台1丁目6番

機動計模量位置 対の支配のではのでは、fut o tu st

里道より東側は、傾斜がなだら かとなっている。谷埋め盛土。

記事

報告者 太田英将 (所属: 有限会社太田ジオリサーチ)

状 況

(写真) (図表)



報道では 3.5m高のブロック塀と言っているが、実際には下にはコンクリート擁壁があり、ブロック塀の高さは 1.6mほど。背面に控壁があるかどうかは表側からは見えなかったはずなので、「明らかに危険で違法」と言えたかどうかは疑問。(実際控壁がなかったので違法状態だったが、「一見してわかる」「誰でもすぐにわかる」という報道が疑問ということ。きちんと調べなければわからなかったはず。)

日 時 | 6月 24 日 14 時 ごろ 分

場 所 大阪府高槻市栄町



ブロック塀が倒れて通学途中の子供が亡くなったところ。子供の身長からすれば、上からブロック塀が降ってきた状態だったはず。

記事

報告者 太田英将 (所属: 有限会社太田ジオリサーチ)

NPO 提技術者

Tech Force が調査し、 高槻市が遠隔カメラで 24 時間監視していると のこと。

状 況

(写真) (図表)

日 時 6月 24 日 15 時 ごろ 分

場 所 大阪府枚方市香里園桜木町 22-13

開発前の地形を開発後の地形に重ね合わせた (今昔マップを使用)

香里園桜木町

避難勧告がでていた枚方市香里園桜木町 22-13(1 世帯;戸建て)、香里園桜木町 25-6(12 世帯;マンション)。

大阪層群分布域を開発した造成地。開発から残った小山の崖が崩落した。雨の予報となり土砂災害の危険性が高まったとして避難勧告した。

記事

報告者 太田英将 (所属: 有限会社太田ジオリサーチ)